

生徒のAI活用指導（はじめの一步）

「禁止」から「考えを深める使い方の指導」へ — 学習塾ソートアップ主催 教育現場のためのAI活用セミナーA 領域B版 出張教員研修

研修の目的・ねらい

生徒は既に生成AIを日常的に使用しています。「禁止すれば守られる」は実態と乖離しており、指導のないまま放置すれば「AIに答えを出させるだけ」の思考停止型利用が広がります。本研修では、**教員自身が課題の"AI耐性"を体験的に確かめ**、「考えを深める使い方」を生徒に伝えられる第一歩を踏み出すことをねらいとします。

文科省ガイドライン準拠：「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）」（文部科学省）の立場（禁止前提ではなく活用前提）を踏まえた内容です。一次ソースを画面に映して提示します。

基本情報

対象	全教職員・希望者
想定人数	10～20名
所要時間	標準90分（60～90分に調整可）
形式	対面 / オンライン
持参物	スマートフォン
前提知識	不要
参加費	無料

講師

高須賀 惇也

学習塾ソートアップ 代表
愛媛大学大学院 理工学研究科
博士後期課程 在籍
研究テーマ：教育と AI（生涯AIチューターの数理モデル）

当日の流れ

時間	内容
0:00～0:15	誤解をほどこす：「AIを使うと学力が下がる？」 — 研究は「使い方次第で両方の結果が出ている」。生徒の利用実態と文科省ガイドラインVer.2.0の立場を一次ソースで提示
0:15～0:55	デモ3本：①同じ宿題を「解いて」と頼む vs ヒント縛りプロンプトで頼む比較 ②AIの誤りを生徒に検証させる授業づくり ③「30秒で解かれる課題」を「解かれない課題」に作り替えるBefore/After
0:55～1:20	体験タイム：自分の課題のAI耐性チェック：各自スマホで普段の宿題・課題を1つAIに解かせ「30秒で解かれた」を直視。隣の先生と「どう作り替えるか」を1分ずつ共有
1:20～1:30	質疑・配布物のお渡し：MAT-11「生徒AI指導スタートガイド」 / MAT-12「課題のAI耐性チェックシート」を配布

配布物

- MAT-11 生徒AI指導スタートガイド（A4×2） — 「思考停止する使い方／考えを深める使い方」対照表・声かけフレーズ10選・文科省ガイドラインVer.2.0要点
- MAT-12 課題のAI耐性チェックシート（A4×1・書き込み式） — 持ち帰って自分の全課題を診断できるワークシート

個人情報の取扱い

生徒の実名・成績・個人が特定できる情報は研修中に入力しない運用を冒頭で確認します。使用するのは無料AIツール（ChatGPT等）のみです。

時間調整について

標準90分版をベースに、校内研修の時間枠（60～90分）に合わせてデモ本数・体験タイムを調整します。事前打ち合わせでご相談ください。

主催・お問合せ

学習塾ソートアップ

seminar.thought-up.com

TEL：089-989-2464